

2018年6月24日(日)

主 題:「互いに心通い合う関係」  
—祈りこそ鍵—

テキスト:ヘブル人への手紙 13章17-19節

### はじめに

- ・日本が高度経済成長の中にあつた時代、日本企業は海外へ進出して行きました。私がかつて住んでいたドイツのデュッセルドルフは、当時「日本人コロニー」と呼ばれたほど、多くの日本人が住んでいました。一時は日本企業が460社以上も事務所を置き、また大手日本企業は現地法人化し日本人が働いていました。
- ・ある時、私は日本の大手電機会社のクリスチャン社長であつたK兄弟を訪ねました。その会社オフィスには、当時なんと26もの異なる国籍を持つスタッフが働いていました。社長は英語とドイツ語の秘書をかかえ、大変多忙な日々を送っておられました。会話の中で、私は次のような問いを投げかけました。
- ・「大会社での社長の働きは責任もあり、きっと大変でしょうね。」すると彼は次のように言われました。「会社では物がどれくらい売れるかどうかは、部下がやってくれる。社長として一番大切な仕事は、社員間の人間関係、その調整である。社長の働きは、職場での人間関係をどう築き上げるかにかかっている。」社員間の人間関係、たしかにそれは重要なことです。
- ・私はその言葉を聞いた時、それこそ聖書が語る視点であることを思いました。聖書は私たちに、互いの人間関係を教えてくれています。ヘブル人への手紙の著者は、次のように言いました。  
**13:17 あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であつて、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。**
- ・ここでは、キリスト者として、教会での人間関係について説かれています。なぜ、教会指導者と兄弟姉妹との関係は重要であるかと言えば、教会は神の教会であるからです。指導者は神から教会を託されたわけですが、その霊的権威は霊的リーダーシップの中で指揮されものです。決して権威をふりかざすことではありません。つまり威張り散らすことによる権威ではないということです。
- ・ここで記された教会指導者は、今でいう牧師にあたる人と考えてよいかと思ひます。しかし、一人の牧師だけではありません。注意して読むならば、聖書は複数形をとっています(Pray for us, Betet fuer us)。つまり、牧師とともに教会をリードする教会執事、各グループのリーダーたちも含まれると思ひます。この指導者と訳されている語は、前回学んだようにドイツ語で“Vorsteher”(前に立つ人の意味)です。つまり「人の前に立つ人」のことです。この意識は大切です。キリスト者の人間関係は、教会での人間関係から始まり、社会生活での人間関係につながっていきます。
- ・では、私たちが幸いな心通う人間関係を築くために、何が求められるでしょうか。2点

### 大切なポイント

#### 1. みことばへの正しい理解

## 1) 指導者に求められること

- ・神の教会を指導する指導者たちは、神のみことばへの正しい理解が必要です  
もし、いいかげんなことを教えたら大変なことになります。ですから、聖書が何を教えているかということについて、正しく知る知識が必要です。聖書をよく読んでいることが何よりも重要です。
- ・しかし、ただ聖書を読んでいるだけではありません。全体的に聖書の教えをつかんでいることが重要です。聖書の深い真理を、自分のものとしていることが必要です。そのためには、絶えず学ぶという姿勢は必要です。もし、聖書のことは分かっていると言う人がいれば、それは危険です。生涯学び続ける姿勢が必要だからです。
- ・パウロは、若いテモテという指導者に次のように言いました。  
4:16 自分自身にも、教える事にも、よく気をつけなさい。あくまでそれを続けなさい。  
そうすれば、自分自身をも、またあなたの教えを聞く人たちをも救うこととなります。 1 テモテ
- ・指導者はみことばによって、人々を導くものです。みことばに精通することは大切ですが、何よりもその教えたみことばに、自ら率先して生きる必要があります。ですから、ヤコブは次のように薦めました。 **ヤコブ3章**  
3:1 私の兄弟たち。多くの者が教師になってはいけません。ご承知のように、私たち教師は、格別きびしいさばきを受けます。
- ・このように指導者に対して、聖書のみことばは教えています。  
では、それに対して、教えを受ける人（側）はどうすればよいのでしょうか。

## 2) 兄弟姉妹に求められること

- 13:17 **あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。**  
スポーツ選手は、コーチや監督の言うことを聞くことは大切です。誰の指導も受けず、自分ひとりでやって一流の選手になったという話は聞いたことがありません。みな、コーチや監督の言葉に従って、はじめて一人前となるものです。
- ・一般的に、コーチや指導者の言葉は厳しいものです。決して耳ざわりのよいものではないでしょう。しかし指導者の言うように訓練をしていると、やがて頭角を現してきます。それと同じです。教会指導者が語るみことばに耳を傾け、それに従う人は成長していくのです。  
13:17 **あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。この人々は神に弁明する者であって、あなたがたのたましいのために見張りをしているのです。ですから、この人たちが喜んでそのことをし、嘆いてすることにならないようにしなさい。そうでないと、あなたがたの益にならないからです。**
- ・スポーツ選手は、コーチや監督が選手のことを思い、一生懸命やっているように、指導者は神から託された兄弟姉妹の成長のために考え、一人ひとりに心配りをします。それはあたかも、親が子どもに最善をしてあげられるように考えるようです。しかし、「親の心、子知らず」で、子どもは自分一人で大きくなったように思うものです。親の苦労は並大抵ではありませんね。子育てを経験して分かるものです。
- ・北浜チャーチにも教会学校があります。毎週、子どもたちが教会へ来ます。私たちは子どもたちのために、毎週祈っています。しかし、教会学校の指導者のため（スタッフ）にも、祈るべきです。指導者が祈られてこそ、神に祝福される教会学校となるからです。
- ・しかしそれは、教会学校の指導者だけではありません。牧師、執事、音楽主事、賛美チーム、セルグループ等の各リーダーたちも同じであります。各会のリーダーたちは、自分の会のメンバーの成長のために、いつも心配りをし、彼らが良い働きをすることができるよう祈るべきです。それが兄弟姉妹に求められていることです。  
13:17 **あなたがたの指導者たちの言うことを聞き、また服従しなさい。**  
そうでないと、あなたがたの益にならないからです。

- ・このように教会においても、指導者と兄弟姉妹との関係は非常に重要です。それが良い関係にある教会で、その群れは必ず成長します。なぜなら主が共にいてくださるからです。まず指導者が真に兄弟姉妹のことを思い、祈り、みことばによって指導していくならば、教会は成長していくはずでず。
- ・このことは、教会につながる兄弟姉妹の心構えとして大切なことです。祈り、祈り合う関係、それは決して「お題目」を唱える祈禱ではありません。いいえ、生きて働かれる神が現れてくださる第一ステップなのです。つまり、教会指導者も兄弟姉妹も、互いに神のみことばに従うならば、必ず神の祝福に与るものとなることができるのです。

## 2. 聖書が教える人間関係

### 1) 指導者と兄弟姉妹の関係

13:18 私たちのために祈ってください。私たちは、正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動しようと願っているからです。

- ・教会指導者と兄弟姉妹との関係は、単に指導する者と指導される者という関係ではありません。著者は言いました。「**私たちのために祈ってください**」  
注意してこの箇所を読むならば、教会指導者たちが兄弟姉妹のために祈っているのではありません。そうではなく、教会指導者の方が兄弟姉妹たちへ祈りを養成しているのです。
- ・「**私たちのために祈ってください**」は、英語、ドイツ語ではわずか3つの単語にすぎません：“Pray for us!”，“Betet fuer uns!”  
しかし、この短いフレーズには深い意義が込められています。
- ・もちろん教会指導者は、兄弟姉妹のために心を尽くして祈っています。とりなしの働きが、主から与えられているからです。兄弟姉妹への心配りというものは、祈りを抜きにしてはあり得ません。指導者と兄弟姉妹との関係は、指導者がいつも兄弟姉妹のために祈っているというだけではありません。兄弟姉妹も、指導者のために祈ることです。著者はここで改めて、「**私たちのために祈ってください**」(複数形に注目)と、彼らに要請しています。
- ・初代教会は、使徒の働きを見ると複数牧会制でした。教会の中心は兄弟会(監督、長老、執事)が荷を取っていました。つまり主からの賜物の従って、その務めを行いました。そして教会が大きくなるにつれて、それぞれ指導者(Vorsteher)が置かれました。
- ・この書簡の著者は、その指導者と兄弟姉妹の関係を述べているのです。この「祈り、祈られる関係」が成り立つ時、指導者と兄弟姉妹との関係は、はじめて素晴らしい愛と信頼の関係になるのです。⇒ 「心通い合う関係」
- ・指導者が権威を振りかざしたり、又兄弟姉妹が指導者に対して、不平、不満、眩きを口にするものでもありません。そういう状態に教会があるならば、不健康な状態と言わざるをえません。そうではありません。
- ・しかし、指導者も人間の子です。何度言っても伝わらない兄弟姉妹がいると、心の中に不満がたまってきます。しかし、そこが鍵です。すなわち、心に不満を貯めておかないことです。**祈りの中で**、神にそのことを申し上げることです。
- ・一方、兄弟姉妹は兄弟姉妹で指導者に対し、不平や不満をもっているかもしれません。そんな時、それを**祈りの中で**神に申し上げることです。お互いに不平や不満を、直接ぶつけるのではありません。**祈りの中で**、神が相手の欠けたところを補ってくださるよう願うことです。そうすれば、神がそうした問題を解決してくださいます。
- ・13:18 **私たちのために祈ってください。私たちは、正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動しようと願っているからです。**
- ・さらに著者は、指導者について述べています。

## 2) 指導者の姿勢

著者は、このように言って、18節のみことばのように、「正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動しようと呼んでいるからです。」と述べています。だからそれを全うできるように、祈って欲しいと言っているのです。教会指導者や牧師に求められることは、「正しい良心」（純粋な良心）を持つことです。そして、「何事についても正しく行動」（どんなことでも正しく行う）という願いです。それは神の前で生きることだからです。人目にはごまかすことはできますが、全てを見通しておられる神の目をごまかすできません。

- ・皆さん。私たちキリスト者は、よく「祈っています！」と言いますね。それは非常に幸いなことです。しかし本当に祈っているでしょうか・・・。  
その日、あるいは1、2、3日は、祈っているかも知れません。しかし心静めて考えるなら、「祈っています！」は私たちの一つの「挨拶用語」とはなっていないでしょうか。「お祈りします！」と言えば、お祈りをするということです。それは神の前で発言した言葉であるからです。
- ・では、「お祈りします！」が、キリスト者の挨拶用語とならないためには、どうすれば良いでしょうか・・・。  
⇒「祈りのノート」を作成することです。
- ・このような生き方をする指導者のために祈ることは、大きな喜びとなるはずですが。指導者の霊的権威は、このような生き方をしている人に、はじめて神から与えられるものです。ですから、兄弟姉妹はそのような指導者の話しを聞き、それに従うことができるはずですが。こうして教会指導者と兄弟姉妹の美しい関係（心が通い合う）が生まれてくるものです。
- ・パウロはローマ人への手紙で、次のように語っています。  
15:30 兄弟たち。私たちの主イエス・キリストによって、また、御霊の愛によって切にお願いします。私のために、私とともに力を尽くして神に祈ってください。
- ・最後に著者は次のように言いました。  
13:19 また、もっと祈ってくださるよう特にお願いします。それだけ、私があなたがたのところに早く帰れるようになるからです。  
これは個人的のように思えますが、教会指導者と兄弟姉妹との美しい関係を表しています。著者は読者から離れていました。ですから彼は1日も早く、会いたいと言いました。彼のごく自然な正直な気持ちでしょう。同じ信仰に立つ者が、再会を望むことは当たり前のことです。
- ・再会が可能になるよう、「祈って欲しい」と訴えています。祈りが多くの人によって祈られた時、喜びは多くの人のもとなります。
- ・祈りによって、私たちキリスト者の心は一つに結ばれます。それをしてくださるのは、祈りを聞いてくださる神です。ですから教会において、互いに祈り合うことは大切なことです。キリスト教会が、昔から祈りを重視してきたのはそのためです。つまり、キリストにある聖徒たちが「互いに心通い合う関係」に生きるためです。

### まとめ

主 題:「互いに心通い合う関係」

— 祈りこそ鍵 —

- ・今日、私たちは大切な人間関係の奥義を聞きました。それは「互いに心通い合う関係のことです。神がご自身の体であるキリストの教会で願っておられることは、「互いに心通い合う関係」です。

いかがでしょうか・・・・？

- ・ 私たちは互いにどんな関係でしょうか。指導者、各リーダー、そして兄弟姉妹の互いの関係はいかかでしょうか。人間関係がいったん難しくなると、修復することは容易ではありません。時間がかかり努力も必要です。しかし聖書は、その幸いな奥義を教えています。

⇒ それは、互いに祈り合うことです。

- ・ 今日のメッセージをまとめてみましょう。

◎ 指導者も兄弟姉妹も互いのために祈る

13:18 私たちのために祈ってください。私たちは、正しい良心を持っていると確信しており、何事についても正しく行動しようと願っているからです。

\* God bless you !